平成29年度行政評価 事務事業評価シート（平成28年度実績）

事務事業コード	030401170	予算コード	01021100	従事人員（人）	投入コスト（千円）	評価	評価点
事務事業名	訪問看護利用料助成事業			正規職員数 0.05	国庫支出金 0	有効性	B
担当課	障害福祉総務課			嘱託職員数 0	府支出金 692		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C
	■要綱・要領			歳出（千円）	その他 0		
	泉佐野市重度障害者訪問看護利用料助成事業実施要綱			人件費総額 427	一般財源 1,119	妥当性	B
					減価償却費 0		
					事業費 1,384	受益者負担	B
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円） 1,811		緊急性	A
実施手法	市直営			市民1人当りコスト（円） 18			
対象				活動指標	H28実績	公的関与	A
特定の市民		対象数	12	申請件数	661.0		
身体障害者手帳１・２級、療育手帳Ａ所持者、身体障害者手帳3～6級				申請人数	12.0	実施主体・委託化	A
事業の内容							
重度の障害者（児）が訪問看護ステーションを利用した場合、一部自己負担額の一部を公費で負担する。						他の事務事業との関連	A
				成果指標	H28実績	透明性	C
				利用件数	661.0		
				利用人数	12.0	財政健全化計画	該当なし
						財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標	H28実績	改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				助成１件当りの経費	2,739.0		
重度の障害者(児)で在宅において療養が必要な者に対し、訪問看護の利用を促進することにより、生活の質に配慮した在宅医療の推進を図る。				助成１人当りの経費	150,916.0		

一次評価	B
平成２９年１月に制度が拡充され、６５才以上の重度障害者等も対象となり、利用者負担も１割から福祉医療と同額まで減額されたため、人数・助成額とも増加している。	

事務事業実施内容
訪問看護利用料助成件数６６１件